

九州大学 スーパーグローバル大学創成事業 総括シンポジウム

## 九州大学における国際化の諸相

～SGUのインパクト、その戦略的展開～

Many faces of internationalization at Kyushu U

～The SGU Initiative: Impact and strategic evolution～

2024 **3.19** TUE

**10:00** ▶ **11:30**

### I. 開会あいさつ

10:00 >> 10:10

ZOOM開催

**岩田 健治**

理事・副学長(国際担当)

**小林 洋介** (予定)

文部科学省高等教育局参事官(国際担当)

### II. 事例紹介

10:10 >> 11:10

1. 教育における国際化の進展: 共創学部 **鏑木 政彦** 共創学部長
2. 研究における国際化の進展: 戦略的パートナーシップ **許斐 ナタリー** 副理事
3. ガバナンスにおける国際化の進展: SIAG **ローレンス ヨハン** 副学長
4. 社会連携における国際化の進展: Q-AOS **清水 周次** 副理事

### III. パネル・ディスカッション

11:10 >> 11:25

ファシリテーター **原田 明** 副学長

パネリスト **事例紹介者**

※ 日⇄英同時通訳あり Simultaneous interpretation available



[kyushu-u.ac.jp/global.zoom.us/webinar/register/WN\\_JSR8aZ8aSuqa4Wky\\_L9-vw#/registration](https://kyushu-u.ac.jp/global.zoom.us/webinar/register/WN_JSR8aZ8aSuqa4Wky_L9-vw#/registration)

は  
こ  
ち  
ら  
参  
加  
登  
録

お問合せ

SHAREオフィス支援室

[share@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:share@jimu.kyushu-u.ac.jp)

## 九州大学における国際化の諸相

～SGUのインパクト、その戦略的展開～

登録はこちら



## 事例紹介: 要旨

## 教育における国際化の進展: 共創学部

鏑木 政彦

共創学部長

共創学部は、グローバル30の申請(2009)において着想され、SGU申請(2014)において構想された「国際教養学部」(仮称)が元になり、2018年に創設された。その設置の経緯から共創学部は、九州大学における学士課程教育の国際化を先導する学部であり、定員の約10%を占める留学生と日本人学生のクラスシェアや、海外留学等の必須化など、教育の国際化に取り組んできた。本発表では、共創学部が行っている教育の具体的な内容を紹介し、今後の教育の国際化における課題を考える。

## 研究における国際化の進展: 戦略的パートナーシップの展開

許斐 ナタリー

副理事

九州大学は、研究における国際化の進展を目指し、世界各地の大学との戦略的パートナーシップを推進している。特に、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(UIUC)、台湾国立大学(NTU)とは、UIUC、NTU、九州大学の三大学によるtrilateral university centerを設立するなど、新たなパートナーシップモデルを通じた研究・教育の国際化のありかたを模索してきた。さらに、APRU、MIRAI、RENKEIといった国際コンソーシアムに積極的にコミットすることを通じてグローバルネットワークの強化に努めている。本発表では、いくつかの具体的事例を紹介し、本学が戦略的に世界クラスの研究教育ハブの実現に挑む姿をお見せしたい。

## ガバナンスにおける国際化の進展: SIAG

ローレンス ヨハン

副学長

SHARE-Q 国際化アドバイザーグループ(SIAG)は、外国人教員をガバナンスに参加させるための戦略的取組みである。SIAGは、シンクタンクとして国際化推進のための提言を行うだけでなく、大学執行部と緊密に連携し、プロジェクトごとの協力を通じて、提言の実現に努めている。大学執行部は、外国人教員を副学長、副理事等の上級管理職に任命することで、このプロセスを加速化している。さらに、SIAGは九州大学における業務や日本で生活をめぐる幅広いテーマについて、英語によるFDを開催している。こうして、九州大学は独自の統合モデルをガバナンスに適用することで日本の大学の国際化を先導している。

## 社会連携における国際化の進展: アジア・オセアニア研究教育機構

清水 周次

副理事

本機構は、エネルギー機構に次ぐ2番目の総長直轄組織として、2019年に創設。部局の垣根を越えた学際的な研究を、オンサイト・オンデマンドで国際的に展開することにより、SDGsの達成を目指しています。昼休みに気軽に聞けるブラウンバッグセミナー、アジア関連の活動を一堂に揃えたアジアウィーク、また海外の同窓生を主な対象として最新研究を紹介するKyudai NOWフォーラムなど、様々な活動を紹介します。